

重電機器受注生産品 2022年度 第Ⅱ四半期 及び 2022年度 上半期 受注実績

JEMA では、わが国の重電産業の景況を、需要者(業種)別の受注動向を通して把握して頂くことを目的に、JEMA 会員独自で実施している重電機器自主統計を公表しています。

本ニュースリリースでは、「2022年度 第Ⅱ四半期(7~9月)」及び「2022年度 上半期(4~9月)」における重電機器受注生産品の受注実績を公表します。

2022年度 第Ⅱ四半期(7~9月)の概要

重電機器受注生産品の 2022年度 第Ⅱ四半期(7~9月)の受注額は、4,642 億円、前年同期比 117.8%と4四半期連続のプラスとなった。(※以下、前年同期比は「同」と略記)

【需要者別動向】

- ◆ 内需は 3,732 億円、同 124.3%と4四半期連続のプラスとなった。
 - 製造業は1,193億円、同170.2%と7四半期連続のプラスとなった。主要需要先のうち鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、自動車はプラスとなった。
 - 非製造業は1,971億円、同114.7%と前期のマイナスから転じてプラスとなった。主要需要先のうち電力業は前期のマイナスから転じてプラスとなった。
 - 官公需は 538 億円、同 96.9%と前期のプラスから転じてマイナスとなった。
- ◆ 外需は 910 億円、同 96.9%と5四半期ぶりのマイナスとなった。

【製品別動向】

- 電力変換装置は 392 億円、同 92.6%と2四半期連続のマイナスとなった。
- 交流電動機は 395 億円、同 136.7%と5四半期連続のプラス、変圧器は 416 億円、同 151.1%と3四半期連続のプラスとなった。遮断器は 146 億円、同 114.9%と前期のマイナスから転じてプラスとなった。配電装置は 673 億円、同 108.5%、制御装置は 1,303 億円、同 122.5%となり、共に4四半期連続のプラスとなった。

2022年度 上期(4~9月)の概要

2022年度上期の受注額は、8,786 億円、同 113.9%と3半期連続のプラスとなった。

- ◆ 内需は 6,979 億円、同 115.0%と3半期連続のプラスとなった。
- ◆ 外需は 1,807 億円、同 109.7%と2半期連続のプラスとなった。

重電機器受注生産品受注実績統計の凡例

■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等です。
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等です。

■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます

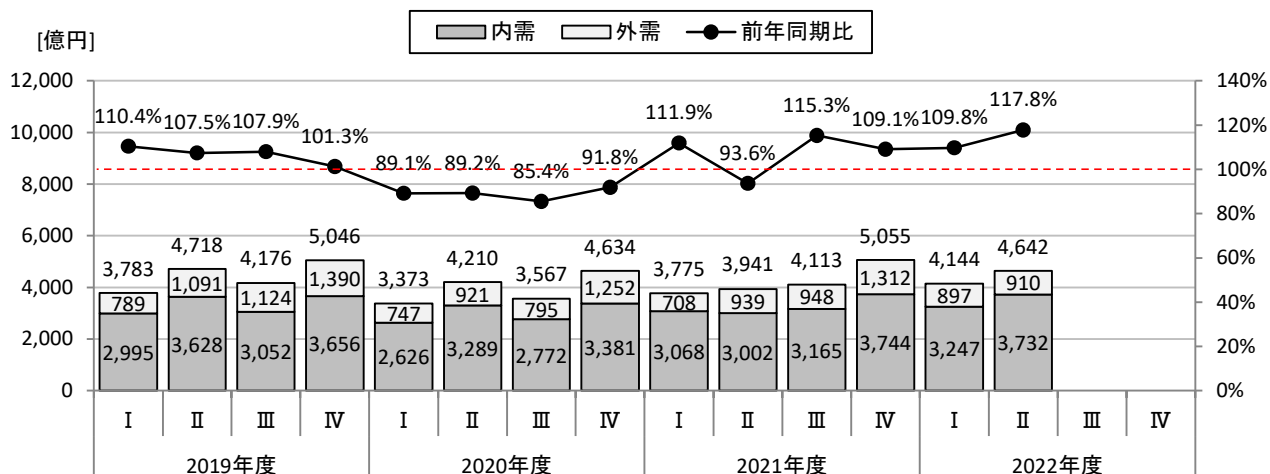
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます

■公表の種類

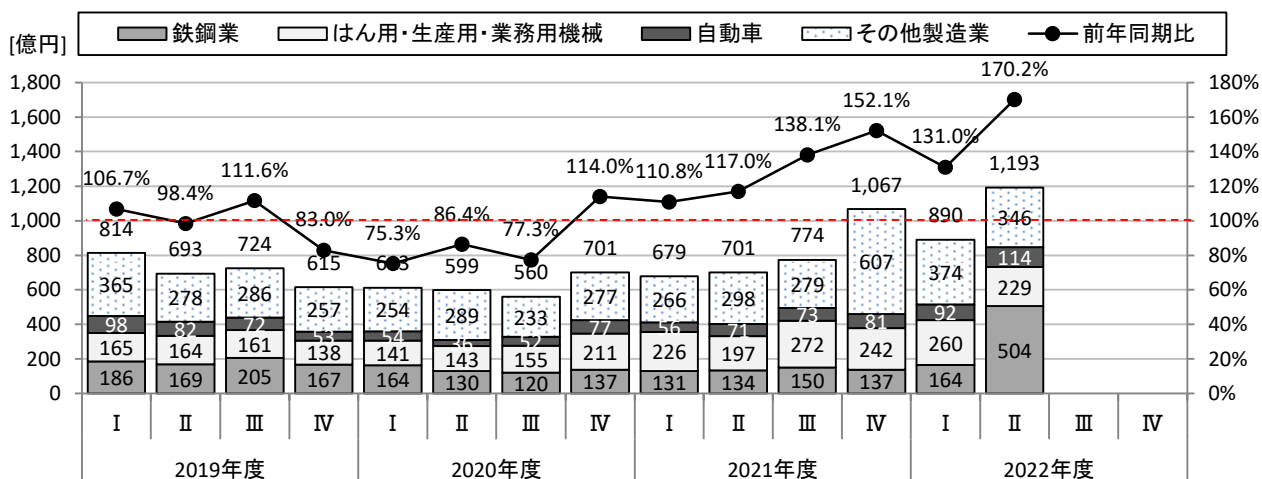
JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

四半期実績の推移

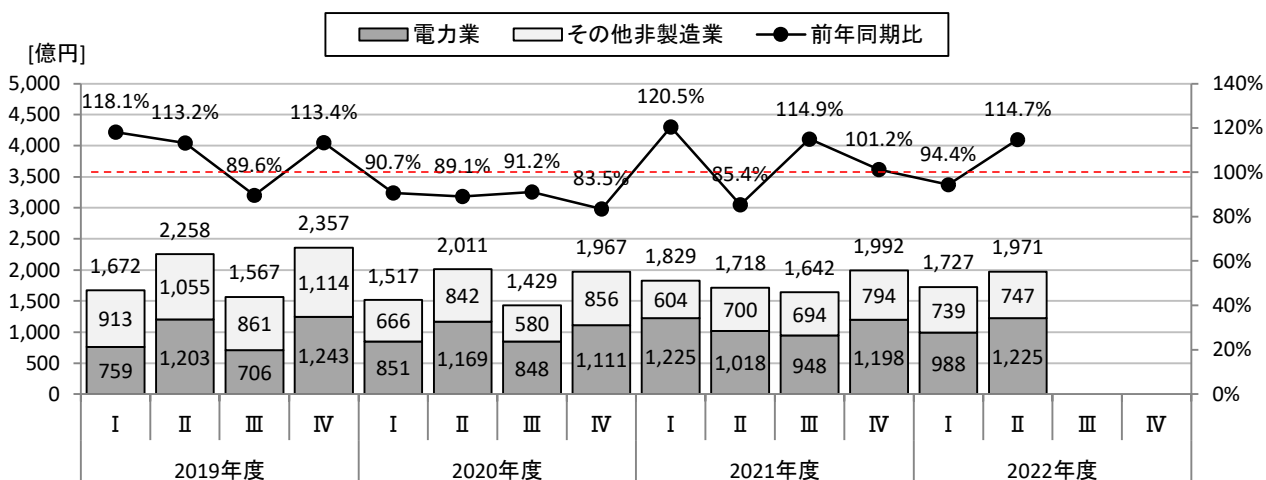
重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)



内需の内訳(非製造業)



本資料に関する弊社問い合わせ先

TEL:03-3556-5882

企画部 統計課